

避難所等におけるペット同行避難対策マニュアル製作委託業務 仕様書

1. 件名

避難所等におけるペット同行避難対策マニュアル製作委託業務

2. 業務の目的

東日本大震災などの過去の災害において、ペットを連れて避難できる避難所が無いこと等による逃げ遅れの発生や、飼い主とはぐれたペットが放浪動物となり住民に危害を加える危険性が報告されている。そのため、災害時の住民の安全・安心を確保するために、飼い主とペットと一緒に安全な場所まで避難すること（以下「ペット同行避難」という。）が推奨されている。

人とペットの災害対策を推進するためには、避難所等におけるペット同行避難への受入環境を整備し、円滑に運用がされる体制を確保していくことが必要である。

環境省により「人とペットの災害対策ガイドライン」、「被災ペット救護施設運営の手引き」、「ボランティアの活動と規範」等が作成され、また、愛知県においても、これらの内容を盛り込んだ「愛知県避難所運営マニュアル」を作成し、市町村に対して災害時の避難所へのペット同行避難について、受入環境の整備を支援してきたところである。

しかし、県内市町村においては、「何から着手してよいか分からない、何を考えるべきか分からない」といった理由から避難所へのペットの受入環境の整備が進んでいない。また、受入環境の整備に着手した市町村においても、避難所運営のノウハウについては不十分であることが課題である。

2024年度、愛知県ではペット同行避難対策事業として、県内の一部の市町村と共に、ペット用資機材を活用したモデル事業及びペット同行避難を支援するモデル事業を実施した。

本業務は、これらのモデル事業から得られた知見を踏まえ、市町村向けに「避難所等におけるペット同行避難対策マニュアル」を新たに作成し、県内市町村における避難所へのペット同行避難者の受入環境の整備を支援し、については防災対策の向上を図ることを目的とする。

3. 業務の内容

(1) 業務全体の実施計画書の作成及び提出

請負者は、業務の着手に当たって業務全体の進め方を防災安全局担当者と調整し、業務内容の詳細、スケジュール、業務実施体制等を記載した業務実施計画書を速やかに作成し、防災安全局担当者に提出すること。

(2) 避難所等におけるペット同行避難対策マニュアルの作成

次のとおり、避難所等におけるペット同行避難対策マニュアルを作成するこ

と。なお、作成にあつては、防災安全局担当者と協議を行いながら進めること。

- 対策を行う段階に分けて構成すること。
避難所等におけるペット同行避難対策マニュアルは「平常時に取り組むべきこと」、「災害発生時の対応」、「避難が長期化した際の対応」など、時間経過によるフェーズで構成すること。
- 市町村向けのマニュアルであること。
市町村が作成する避難所運営マニュアルの補助資料となるよう、ペットの受入環境を整備するうえでの「必須項目」・「導入が望ましい項目」等、取り組むべき項目が網羅的に整理されていること。また、各項目には考え方や助言を添え、要点をまとめた説明を記載すること。
- 避難所運営とペット受入作業との役割分担など、避難所運営の中におけるペットの受入対策の関係を分かりやすく整理すること。
本マニュアルは「愛知県避難所運営マニュアル」(<https://www.pref.aichi.jp/uploaded/attachment/263963.pdf>)の別冊として位置付け、県内市町村における避難所へのペットの受入環境の整備を推進するものであるため、作成にあつてはヒトの避難所運営に関する実態を踏まえた知見を反映させること。また、「人とペットの災害対策ガイドライン」(H30年3月環境省発行)(https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/aigo/2_data/pamph/h3002/0-full.pdf)の理解に努めたうえで業務を行うこと。
- 避難所運営に必要な様式を含むこと。
避難所にペットを受け入れるにあたり、必要と思われる参考様式をマニュアルに盛り込むこと。当該参考様式は可能な限り市町村による再編集を要しないものになるよう、必要事項を整理し、適宜図やイラストを用いて視認性や利便性が高くなるよう工夫すること。また、参考様式や様式の項目には、当該様式の使用目的や項目を設定する理由や留意点を記載し、使用状況を想定したうえで記載例を作成すること。
- 避難訓練の計画例を含むこと。
作成するマニュアルを基にした避難訓練の計画例を作成すること。計画例には達成目標や訓練目的などを段階ごとに設定し、手順における考え方を添え、要点をまとめた説明文を記載すること。なお、計画例は防災安全局担当者と協議の上3つ以上作成すること。
- 2024年度に愛知県が実施したモデル事業の検証結果を反映すること。
モデル事業の検証結果にはテントの仕様に関する考察、コンテナハウスの仕様に関する考察、マニュアル作成や避難訓練の実施における考察などが含まれる。なお、検証結果は防災安全局担当者から提供する。
- 有識者との協議

マニュアルの作成にあたっては、ペットの災害対策に係る有識者（1名程度。防災安全局担当者と協議のうえ選定し、適切な額の謝金を支給すること。以下有識者について同様。）と十分に協議を行いながら作成すること。

（3）避難所等におけるペット同行避難対策マニュアルの検証

防災安全局担当者と協議を行いながら作成した避難所等におけるペット同行避難対策マニュアルを検証すること。また、防災安全局担当者が選定する市町村（以下「実施市町村」という。）と共に以下のとおりマニュアルの有効性について検証を行い、検証結果を反映させること。なお、防災安全局担当者が別途行う保健医療局担当者との協議結果も反映させること。

- マニュアル・様式の検証

作成途中のマニュアル・様式について実施市町村へ意見照会を行う（計2回、2時間程度。オンライン会議を想定。オンライン会議は防災安全局担当者が手配する。使用するアプリケーションはWebex、Zoom、teamsを想定する。以下オンライン会議について同様。）。

- 計画例の検証

実施市町村と防災安全局担当者と協議を行い、作成した避難訓練の計画例から1つを抽出する。実施市町村は抽出した計画例に基づき避難訓練を計画し、請負者は訓練の実施方法について把握、調整、意見照会をするための打ち合わせにオンライン会議により参加する（計1回、2時間程度）。

- 避難訓練の実施

実施市町村の避難訓練に立ち会い、マニュアルの有効性について検証を行い、検証結果を反映させること。

- 有識者との協議

検証にあたっては、ペットの災害対策に係る有識者を実施市町村とのオンライン会議及び避難訓練に参加させ、意見を聴取して検証結果へ反映させること。なお、有識者は（2）で選定した者と同一とする。

（4）実施市町村について

別途、防災安全局担当者が1市町村を指定する。

4. 業務履行期限

2026年3月13日（金）

5. 成果物

（1）提出物

- 業務全体の実施報告書

- ペット同行避難対策マニュアル
 - ペット同行避難対策マニュアル 様式集
 - ペット同行避難対策マニュアル 避難訓練の計画例
- (2) 提出場所
愛知県防災安全局防災部災害対策課
- (3) 提出方法
Microsoft 365 で使用できる Word, Excel 又は PowerPoint で編集が可能なファイル形式
- (4) 提出期限
4. 業務履行期限に同じ

6. 著作権等の扱い

- (1) 成果物に関する著作権、著作隣接権、商標権、商品化権、意匠権及び所有権（以下「著作権等」という。）は、愛知県が保有するものとする。
- (2) 請負者は、自ら制作・作成した著作物に対し、いかなる場合も著作権者人格権を行使しないものとする。
- (3) 成果物の中に請負者が権利を有する著作物等（以下「既存著作物」という。）が含まれている場合、その著作権は請負者に留保されるが、可能な限り、愛知県が第三者に二次利用することを許諾することを含めて、無償で既存著作物の利用を許諾する。
- (4) 成果物の中に第三者の著作物が含まれている場合、その著作権は第三者に留保されるが、請負者は可能な限り、愛知県が第三者に二次利用することを許諾することを含めて、第三者から利用許諾を取得する。
- (5) 成果物納品の際には、第三者が二次利用できる箇所とできない箇所の区別がつくように留意するものとする。
- (6) 納入される成果物に既存著作物等が含まれる場合には、請負者が当該既存著作物の使用に必要な費用の負担及び使用許諾契約等に係る一切の手続を行うものとする。

7. その他

- (1) 請負者は、本仕様書に疑義が生じたとき、本仕様書により難い事由が生じたとき、あるいは本仕様書に記載のない細部については、防災安全局担当者と速やかに協議しその指示に従うこと。
- (2) 本仕様書に記載の業務の実施内容に変更が生じたときは、必要に応じて変更契約を行うものとする。